

四月二十五日より二十七日までの三日間「かいじ国体」バスケットボール成年男子チーム「かいじクラブ」が市民総合体育館で合宿練習をしました。



相沢 功監督



▲成年男子バスケットボールチーム (かいじクラブ)

「かいじクラブ」は、教員と熊谷組の選手を中心として三年前に編成され、日本リーグや全日本で活躍している日本でもトップグループの選手を含み、昨年の「わかとり国体」においても優勝という実力のあるチームです。

かいじ国体成年男子「かいじクラブ」の相沢功監督に話を伺いました。

――都留市での合宿の目的は監督 国体会場にまず慣れ

かいじクラブの状態について話をお聞かせ下さい。

野球に関するテクニクは、昨年の鳥取国体の成果を見てもマスターしていると思います。ほぼ昨年の暮れで練習はやりつくした。あとは、地元の観衆の前でゲームをするのが、かつてあまり経験をしていないので、国体に最高の能力を引き出すために選手のプレッシャーを取りのぞくよう指導したい。また、対外試合を多くして今までの練習の整理をしていくようにしたい。

四年間みっちり練習してきたので今更とやかくいうことはありません。優勝を目指してがんばってほしい。

――「かいじクラブ」の特徴は監督、とにかくうちはコンビネーションプレーとディフェンスがうまいチームです。

――指導方針は監督 「良く走るチーム」が目標のため、練習メニュー

投手二人を欠いての対戦は厳しかった。しかし、森島・関戸がよく投げってくれたのでこれは大きいと思います。また、一対〇と言った最後まで気の許せない緊張した試合に勝ち抜いたことも非常に大きな収穫だったと思います。このあたりは冬場の厳しい練習



安富監督の談話



つた者もありました。最近になってやっとうる気が出てきたようです。

沖縄県野球連盟副理事長の談話

による、精神力の鍛錬の成果が表われてきたのではないのでしょうか。

シーズン始めと言うこともあり、まだまだ選手の勤がもどっていませんが、着実に力をつけていますので、今後は実戦をとおして調整をはかりたいと思います。

――練習日と時間は監督 今年より、県の配慮で週五回、午後三時より練習していますが、それぞれ勤務先が異なるため、五回のうち三回だけ全員が集合して練習し、その内一回は

――島立泰志主将のひとこと
――主将から見たチームの雰囲気は
主将 今年に入り、連日の猛練習のため、少しづつかれが出てくるようですが、みんな気迫でガンバっています。このチームは練習を離れてもまじめなチームですので、みんな和気合々でやっています。

――私たちは県の野球連盟の審判員でもありますので、今年の秋は、国体審判員として私を含め六名が参加する予定であります。

依田副審判長は審判歴二十年という大ベテランです。ほかにも十年以上の経歴を持つ方ばかりです。みんな国体の期間中、無事に審判を務められればと思っています。

――ありがとうございます
――野球シーズンが始まると仕事も家庭も犠牲にしてグラウンドに駆けつける審判員のみなさんご苦労さまです。

――野球をはじめアマチュアスポーツを支えているのは、審判員のような方々ではないのでしょうか。(5月4日楽山球場にて)